

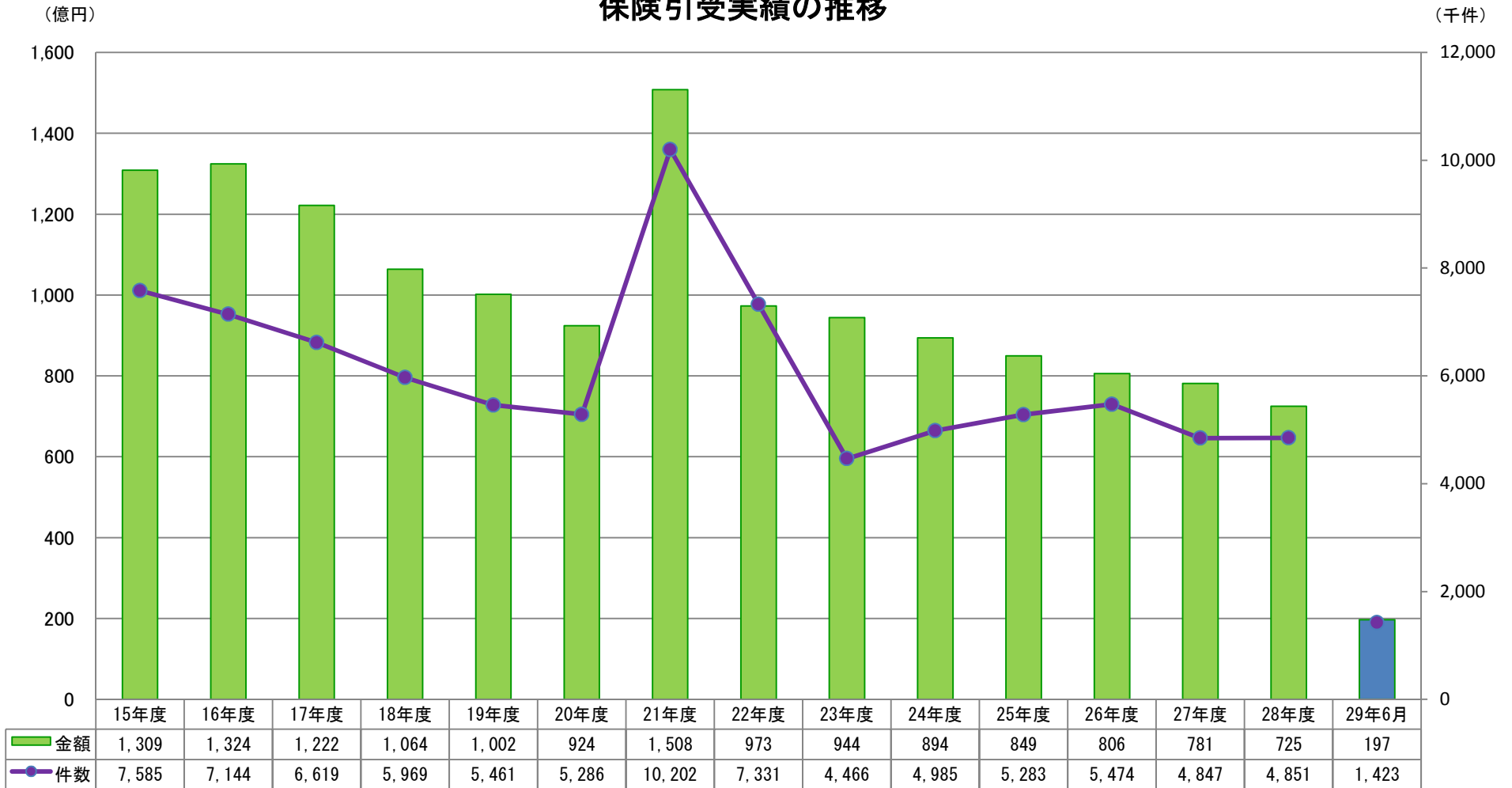
# 平成28年度保険事業実績の概要 (漁業信用保険業務)

平成29年9月11日

独立行政法人農林漁業信用基金

業務実績 (1) 保険引受の状況

保険引受実績の推移

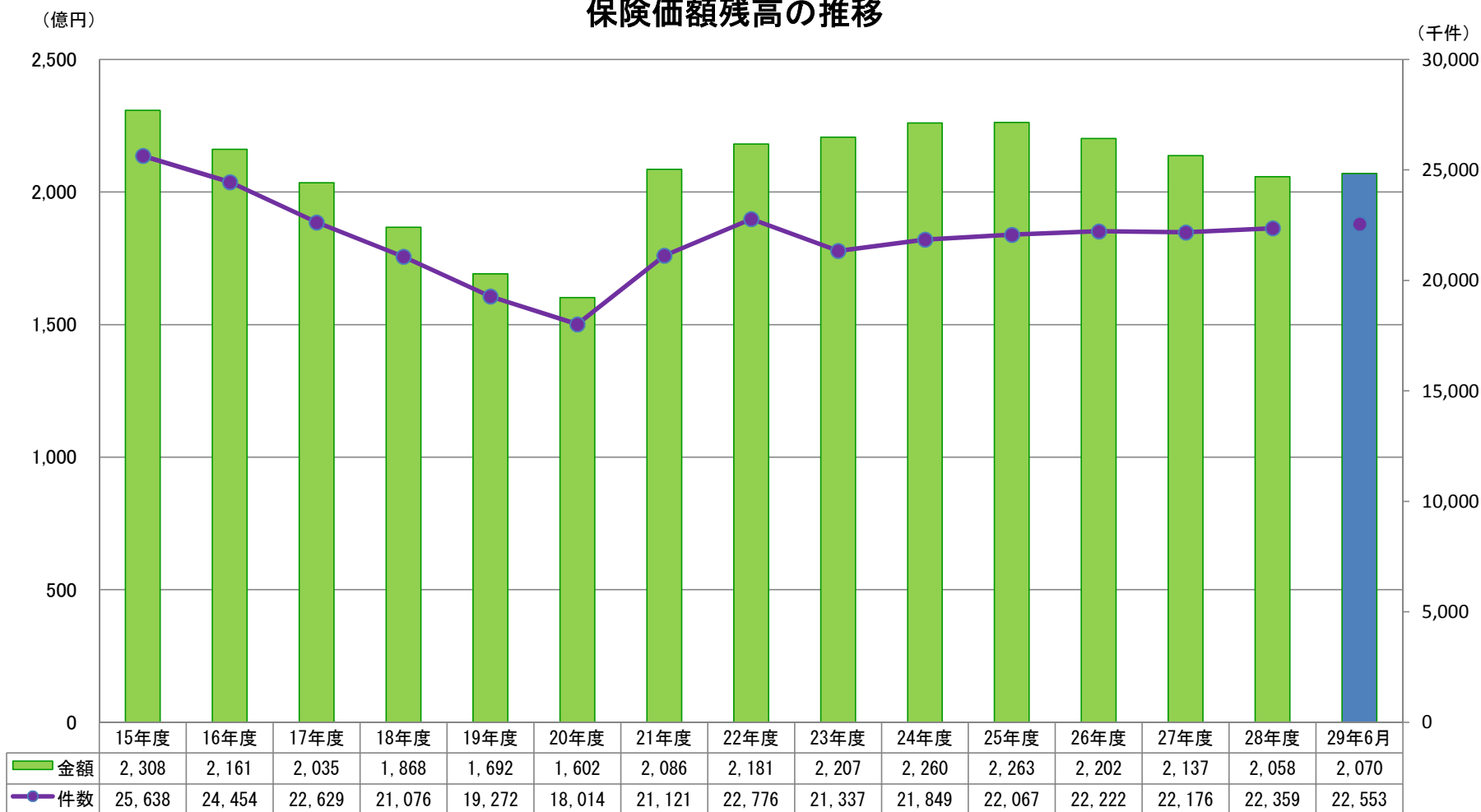


(注) 件数及び金額は、各年度の年間の実績である。29年6月は29年4月から6月までの実績である。

28年度の保険引受は、4,851件・725億円で、前年度実績に比べ、件数で4件(0.1%)増加、金額では57億円(7.3%)減少した。これは、近代化資金の引受額が前年比11.4%増の295億と前年度を上回ったものの、その他一般資金の引受額が減少傾向にあり、前年度比15.8%減の404億円となったことによる。

なお、29年6月末現在の保険引受は、前年同期比5.7%減の197億円である。

### 保険価額残高の推移



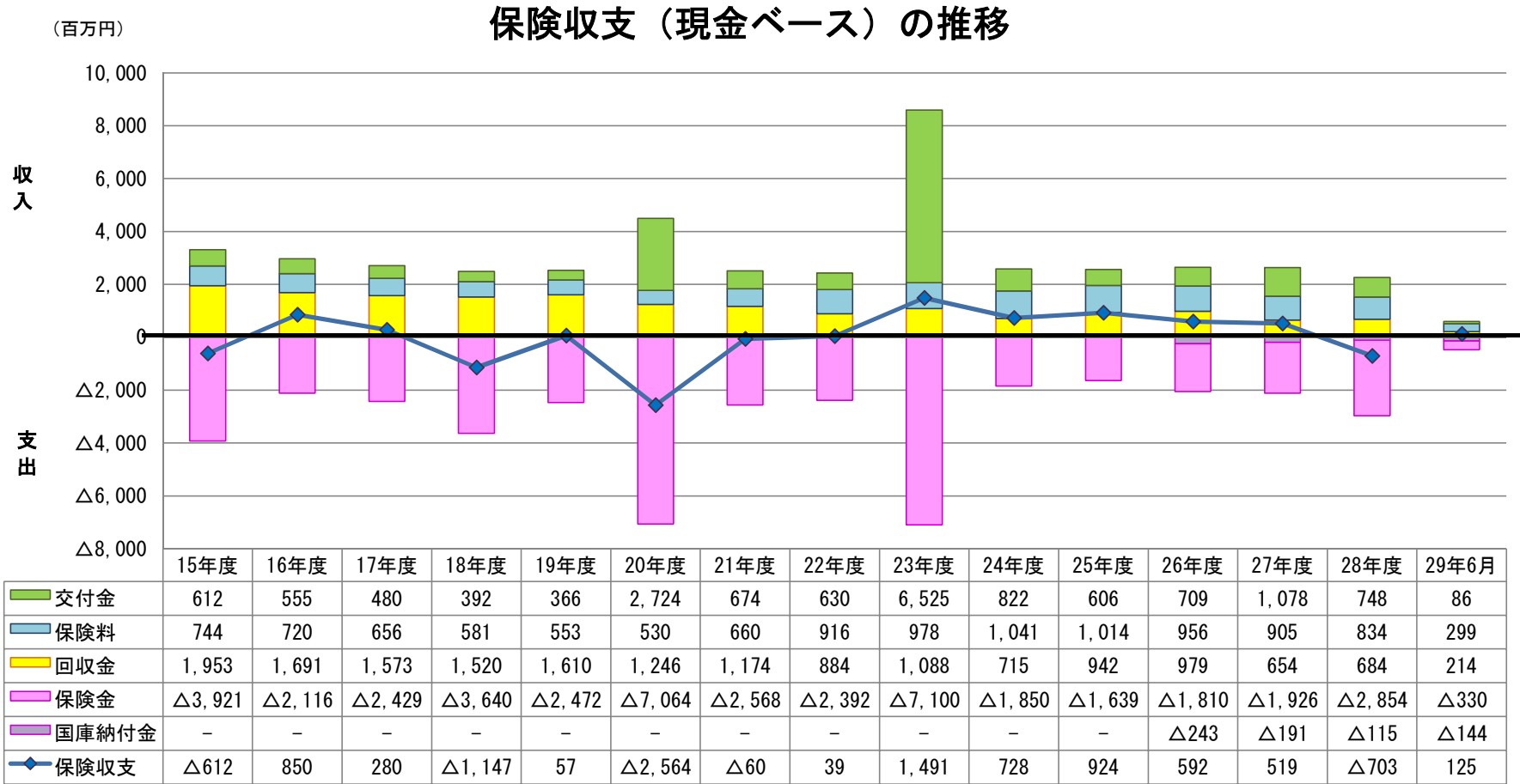
(注) 件数及び金額は、各年度末現在の実績である。29年6月は29年6月末現在である。

28年度末の保険価額残高は、22,359件・2,058億円で、前年度末実績に比べ、件数で183件(0.8%)増、金額では79億円(3.7%)減少した。これは、近代化資金の引受額の増加により保険価格残高が前年比6.7%増の1,002億円となったが、その他一般資金の引受額が減少傾向により、前年度比11.8%減の906億円となったことによる。

なお、29年度6月末現在の保険価額残高は、前年同期比3.6%減の2,070億円である。

(3) 保険収支の状況

(保険料収入、回収金収入、保険金支払)



(注) 各年度の年間の実績である。29年6月は29年4月から6月までの実績である。

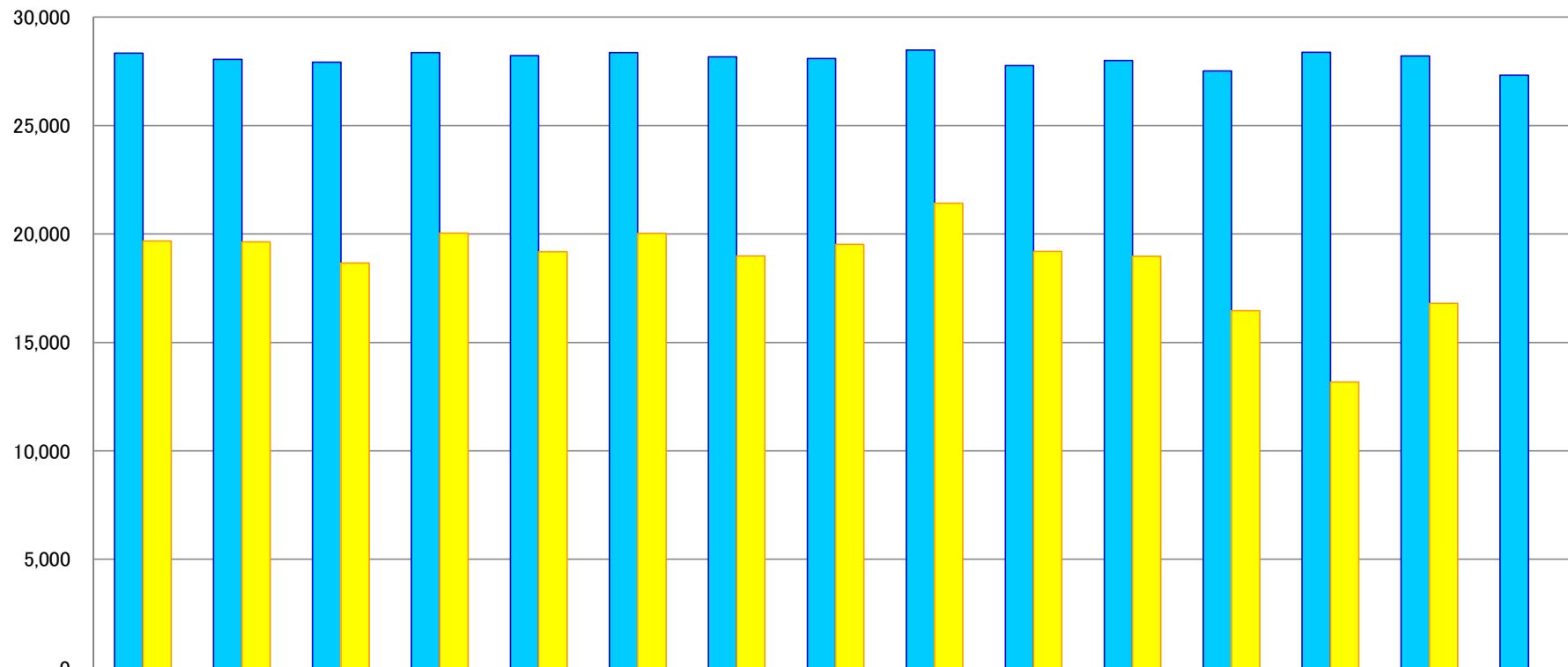
28年度の交付金収入は7億48百万円（前年度比30.1%減）保険料収入は8億34百万円（同7.7%減）、回収金収入は6億84百万円（同4.6%増）で、これら収入合計は22億66百万円となった。対して支出の保険金支払は28億54百万円（同48.2%増）、国庫納付金は1億15百万円（同40.0%減）でこれら支出合計は29億69百万円となった。この結果、当該年度における「保険収支」は、△7億3百万円となった。

なお、平成20年の保険金70億64百万円は遠洋かつお・まぐろ漁業者、魚類養殖業者の倒産・廃業に伴う支払い、平成23年の保険金71億円は東日本大震災に起因する支払が主な理由となっている。

また、平成23年度の交付金収入65億25百万円については東日本大震災に起因する国からの保険金支払経費助成が主な理由となっている。

基金協会に対する貸付けの推移

(百万円)



貸付残高	28,344	28,056	27,928	28,367	28,225	28,364	28,176	28,096	28,485	27,766	28,009	27,518	28,380	28,205	27,327
貸付額	19,682	19,641	18,663	20,041	19,178	20,031	18,985	19,516	21,422	19,203	18,969	16,462	13,175	16,804	0

(注) 1. 貸付額は各年度の年間の実績である。29年6月は29年4月から6月までの実績である。2. 貸付残高は、各年度末現在の実績である。29年6月は29年6月末現在である。

28年度の漁業信用基金協会に対する代位弁済財源等の貸付けは168億4百万円で、このうち155億28万円が長期資金である。  
 なお、25年度までは、長期資金の貸付期間が1年間と2年間のものがあつたが、26年度から長期資金の貸付期間を2年間に一本化することとしたため、26年度以降の貸付額が減少した。  
 28年度より長期資金の貸付期間はすべて2年間に統一された。